

ヒヤリ・ハットの共有化活動

'11年度のヒヤリハット活動

ヒヤリハット報告活動の意義・主旨を教育(安全会議)

活動意欲の醸成



報告様式

- ① ヒヤリハット報告書
(SUS工場のトランスファー)
- ② 安全日誌
- ③ 想定類災事例研究
- ④ 安全標準KYシート
- ⑤ 慣れ・油断による
危険作業の抽出

1冷工場年初からの活動

事が起きる前に危険と
感じたこと(ヒヤリハッ
ト)

全てを情報公開
ヒヤリハット報告掲示

情報共有活動

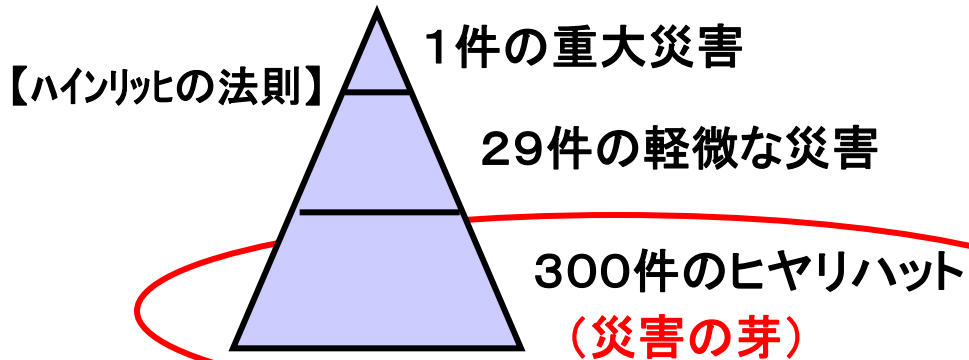
現場監督者研修にて
対策進捗フォロー

傾向と対策

完了案件の見える化

前年反省に基づき、『事が起きる前に危険と感じたこと全て』を対象として、
①報告様式の充実、②全て情報公開、③対策進捗完了の見える化によって、
活動意欲を醸成する。

ヒヤリハット キャンペーン



ヒヤリハット活動

一人一件ヒヤリを全員で共有

事が起きる前に危険と思ったことを全員で共有することで、災害の芽を摘もう！

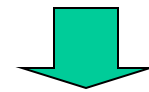
<キャンペーンの狙い>

冷延工場在籍 223名

①個人のヒヤリハット・Grの慣れ・油断による危険の抽出結果(災害の芽)を共有

②対策 (個別対策および傾向に基づいた対策)

とることで、災害を防止する。



226件のヒヤリハット案件を抽出(10月時点)

ヒヤリハット情報共有

ヒヤリハットマップ

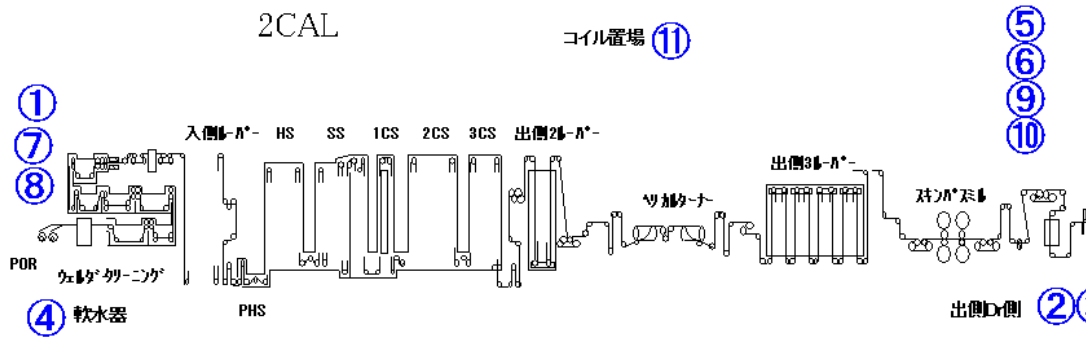
ヒヤリハット(慣れ・油断による危険)マップ

2CAL

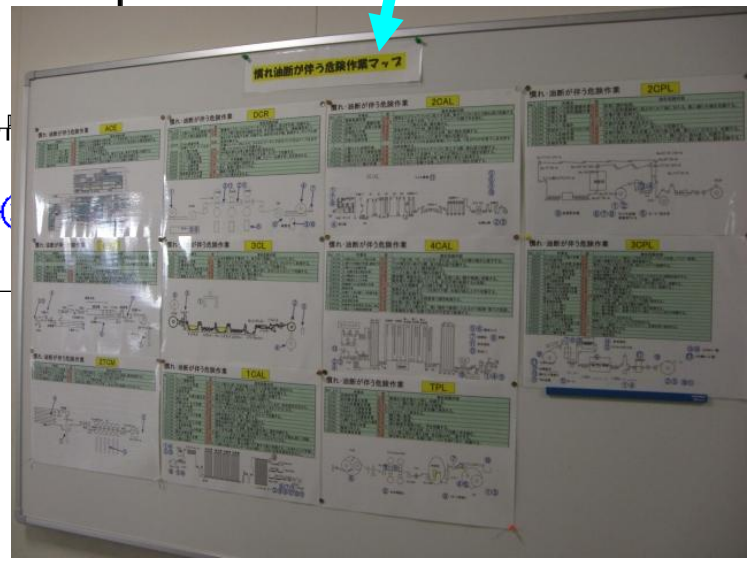
Nb	ライン	作業名	型	潜在危険内容
1	2CAL	端板処理作業	切創	端板をスクラップバックに投入する時、板がバックに当たり跳ね返り切創する。
2	2CAL	10mmワッパー運搬作業	挟まれ	ワッパーを並べる時、ワッパーとワッパーの間で手を挟む。
3	2CAL	出側ワッパー段取り作業	腰痛	コンベアーに乗せる時、腰を痛める。
4	2CAL	並塩投入作業	腰痛	並塩を持ち上げた時、腰を痛める。
5	2CAL	テープ貼り作業	切創	コイルの尾端をテープで止める時、板に触れ切創する。
6	2CAL	刃返り点検作業	切創	刃返り点検で板のエッジに素手で触れ切創する。
7	2CAL	入側コイル点検作業	切創	2名でコイルエッジの点検を実施している時、1名がTOPを落下し皮はぎする時切創する。
8	2CAL	入側バンド及び端板処理	切創	バンドや鋼板をスクラップバックに投入する際、跳ね返り切創する。
9	2CAL	出側TOPサンプル点検作業	切創	サンプルを持って点検中、サンプルが跳ねエッジで顔を切創する。
10	2CAL	出側コイルスキッド点検作業	転落	コイルターナーを点検する時、躓き開口部から転落する。 <small>設備対応要</small>
11	2CAL	コイルカバー掛け作業	切創	コイルにカバーを掛ける時、コイルのエッジに触れ切創する。

ヒヤリハットマップの現場配布、掲示により、各職場での情報共有

現場統合詰め所に、全職場のヒヤリハットマップを貼り出し



マップの配布・掲示により、情報共有はある程度進んでいる。しかし、ヒヤリハット情報が必要な場面で活かされる工夫が必要。



ヒヤリハット情報共有

ヒヤリハット現場掲示

ヒヤリハット発生現場

2CAL-10

コイルスキッド点検作業

災害の型

【ヒヤリハット内容】

コイルスキッドを点検する際、静検コイルカーゾン(開口部)を横断し、スライディングデッキを出して横断するが、幅が短く、コイルターナー側の開口部に墜落しそうになる。



墜落、転落

墜落・転落

【改善内容】

スライディングデッキは拡張済
コイルターナー、TR周りについては、
11下期 ワースト10活動に入れて改善



静検コイル側スライディングデッキ閉の状態



発生現場に発生場所掲示を実施することで、共有すべきヒヤリハットを必要な場面で注意喚起できた。